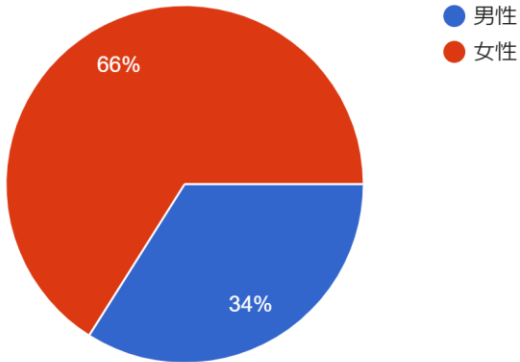


# アンケート

## 第20回「在宅医療サークル」、長崎県介護支援専門員協会 島原半島支部 第2回島原ブロック研修会

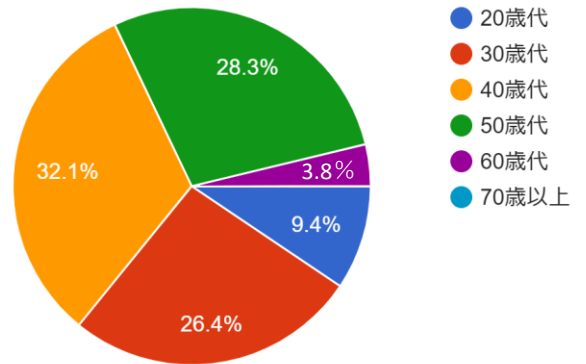
### 1、性別

53件の回答



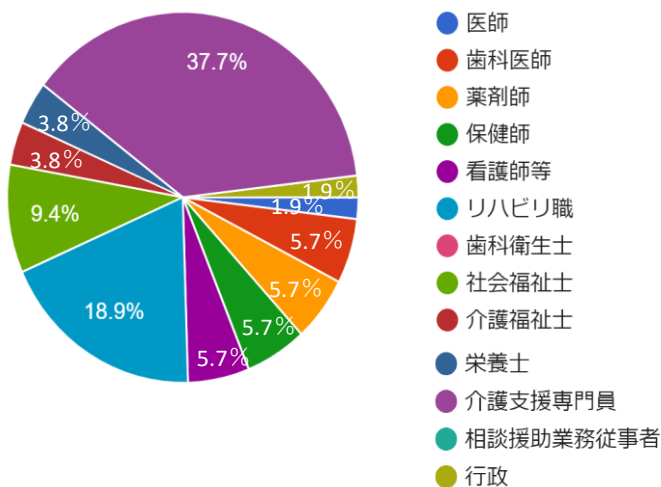
### 2、年代

53件の回答



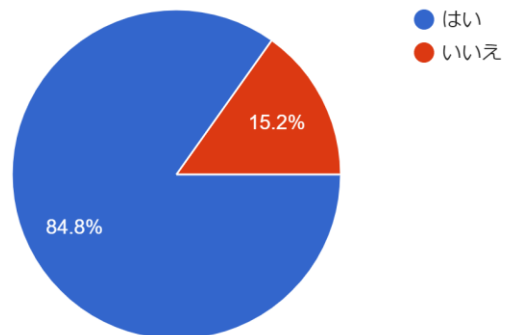
### 3、職種：現在従事している主となる職種（一つ選択）

53件の回答



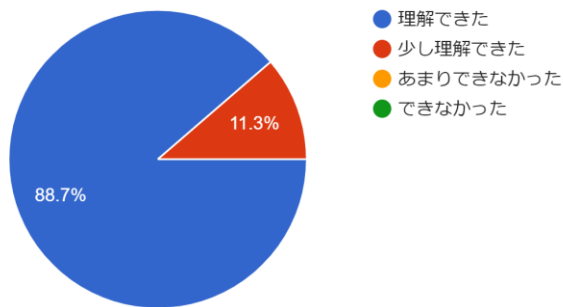
### 4、介護支援専門員の方は...原半島支部の会員ですか。

13件の回答



5、本日の講演会の内容は理解できましたか。

53件の回答



**講演を聞いて理解できたまたは理解できなかった内容など感想をご記入ください。21件の回答**

- ・ 他職種連携の大切さ
- ・ 今回講演を聞かせていただいて、初めて知ったところもあったのでとても勉強になり、またとてもとても分かりやすくてよかったと思いました。
- ・ 事例提示をして頂き、わかりやすかった。
- ・ 患者さんを支えるためにケアマネジャーさんとの連携の大切さを改めて考える機会となりました。
- ・ カンファレンスをしなが、本人の気持ちが決まっていくというところに、なるほどそうかもしれないと思いました。
- ・ 以前から思っていましたケアマネの方は担当の方の生活に密着したケアをされていて、本当に頭が下がるなと薬の方で少しだけ参加させていただいていますが、その方の日々の暮らしを支えるためのフォローをされていて、素晴らしいなと思っています
- ・ 連携が大切だと思いました。
- ・ 医療との連携について知識を深めることができた
- ・ 退院時連携の取り方が勉強になりました。
- ・ いやもう、全面的に共感できたなあ。
- ・ 同じ目的のために連携し協力しあう事・連携目的は利用者中心・個人情報に留意しながら、ACPについて、否定から入らずチームで考え本人の尊厳を守りながらチームで支えあうことの大切さを理解できた。
- ・ 連携とは同じ目的のために連絡し協力しあって物事を進めることであり利用者中心に行われるものであること。

- 体制作りにも関わっておられるので、現場だけでなく地域の動きを教えていただき、わかりやすかったです。
- 在宅支援者側からの視点での退院支援・カンファレンスについての実践に基づく具体的な内容の講義であり、とても参考になった。医療側への働きかけは、手をかけていくことというのが一番肝に感じた。連携ができないではなく、頑張っって地道に手をかく働きかけていけことの必要性を感じた。
- ターミナルに関わらず病院や在宅での連携の大切さ
- ACPの実際の内容が実感できた。
- ○○だから在宅はムリ よくある会話です。(理解できたところ)
- 御家族や本人との最終的な希望を聞く場所は。 ・どこで、どのように行われているのか、実際にイメージがつかなかった。
- 東京都は医療・介護の連携強化のために独自の研修を開催し連携を進めていることに感銘を受けた。
- 退院前には本人・家族と面談し意向を確認。医療・介護等の関係機関との共有を行うことで本人の思いを尊重した自宅での生活につなげることができること
- 同じ目的のために連携し協力しあう事 連携の目的は利用者中心であること 同じ目的に向かって連携しあう大切さ

## 6、本日の講演を聞いて、どのように連携を図っていこうと思いますか。26 件の回答

- 他職種連携の大切さ
- 行政の主導力が必要と思いました。
- 本人の思いを確認して、チームで話し合っていこうと思った
- 患者さんの要望にいかにかえられるかを大事に
- 連携時に伝えるべき事が良く理解できました。
- 入院時から退院まで、今まで以上に細やかな情報提供に努めていきたいと思います。
- 在宅での生活を思いながら、自分たちがどのような提案をしていくべきか考えようと思いました。
- ちょっとした情報提供や相談を面倒と思わずに行っていこうと思います。
- どうしても薬のことでしか関わらないのですが、飲み方、飲む回数等もっとその方にあったケアをしていきたいと思いました
- ネットワークを活用すること
- 支援チームのメンバー次第で在宅のムリがラインが異なることがあります。同じ価値観、統一した思いを持つこと、考えていきたいです。

- 退院後の様子を病院の連携室に伝える等丁寧な連携を行っていききたい。利用者中心で。
- 利用者、ご家族の気持ちを汲み取って医療側と一緒に支援ができるように頑張りたい。
- 最終的には、想いをどう伝える事ができるか。だと思ったなあ。
- 本人の意思決定と一緒に考え、揺れる思いも尊重していけるように支えられるようにしたい。
- 本人を中心に個人情報に留意して行いたい。自分の持っている情報を本人を支えるチームと共有することで、本人に安心感を与えたり、意思決定の支援を行いたい。
- 連携シートにacplについての内容を追加されているという話があり、とてもいいと思いました。リモート会議は島原で実現しそうですね？
- 医療と介護、両方からの意見を参考に、また本人の思いを重要視した連携体制を構築しなければならないと思いました。
- 連携の目的は利用者中心であることを忘れずに本人の意思決定と一緒に考えていくことを大事にしたいと感じました
- 医療側がもっている情報たくさん知り、活用できるような連携
- 利用者の考え、希望をよく聞くこと。
- 同じ目的をもって、目的を告げて同じ方向みて連携していこうと思いました。
- ・口腔ケアや治療等、依頼があれば行かせていただきます。 ・微力ながら、訪問診療にも力をいれていきます。
- 積極的に医療と連絡を取り利用者の利益になるような連携を図りたい
- 個人情報に留意しながら、関係者へ連絡を必要に合わせて情報の共有をしておくこと
- いろいろな意見を出し合える関係性とその可能性がこの地域にはあるので、これからも情報取り扱いには注意しながら連携していきたい

## 7、医療との連携を行う際に課題に思うことは何ですか。20件の回答

- 自宅での生活を想定したりハビリの内容
- リモートでの連携も必要になってきていると感じた。
- 医療が介護の目線に合わせられるようになること。
- 通所の際とか関わる人が多人数すぎて 人によって対応が違って話が進まないなと思うことはあります
- 社会資源が限られていること
- 看護サマリーなど、ケアマネ宛にいただきます。有効活用をといわれましたがそのままサービス事業所に渡していいのかなと思う事があります
- 業務量の多さ
- たまに退院の連絡が遅くて退院時の準備を慌てることがある。
- まだまだ、介護支援する側が遠慮しているのかもしれないなあ。もっとこちら側が図々しく踏み込んでもいいのかもしれないなあ。
- 入院先の病院だけでなく転院先と連携
- 長く携わった方の生活状況は把握しているが、退院を前に初めて関わる方の生活状況（本人・家族・環境）などわからないため退院後の支援・目標などを短期間にまとめられない。
- 個人情報への注意 専門職の視点 お互いの職種への理解
- どの部分に連携が必要なのか、自分の職種の中ではどの部分まで出来るのか整理する必要があります。
- こちらからは情報提供してもお返事などが無いとき
- 共同する・チームというお互いの認識をもつ
- 退院カンファレンスを充実させる。
- 医療の連携室の方とのやりとりと病棟のNS、担当のNS、師長等の意見がちがう時があるのは問題。退院後の行き場や方向性を確認する時に迷いが出ている場合があります。病院内の連携もちゃんとしてほしいし誰に聞けば本当の意見が聞けるのか？
- ・医療保険と介護保険の算定の煩雑さ。 ・歯科医師との連携
- かかりつけの医師や看護師が認知症状に対し認識が薄いこと、在宅での困難さを理解いただけないこと
- その人の生活での話がなかなかできない。

**8、リモート研修を受けた感想やご意見、今後受けた研修内容などご自由にご記入ください（今後在宅医療サークルで行いたいことなど）。14件の回答**

- 連携シートの書き方研修
- リモートで自宅で受けることができるのは本当に助かりますが、これは自分の問題ですが集中力が落ちる場合があります。
- リアルタイムのアンケートが入っていてとても良かったです。とても分かりやすくアドバイスを頂けて参考になりました。
- とても参考になりました 今後もっと皆様のお話を聞いて 協力できることが増えたらいいなと思いました ありがとうございます
- コロナウイルスのなかでも生き生きと活躍されていると思いました。
- 時間的に1時間と少しで集中ができました。
- リアルタイムでアンケートがとれるシステムは面白いなあ。それをちゃんと分析して参加者に説明できる講師の先生もさすがだなあ。
- コロナ禍でケアマネの役割、課題、今後の対策について、その地域の取り組み
- 他所の退院連携、リモートでの退院カンファレンスの工夫など大変参考になりました。
- 質問を回答して、参加者の回答状況を共有できるのはとても良かったです。
- リモート途中のアンケート集計はzoomで初めての経験でした。対面では困難であるため、リモートならではの可能性を感じました。
- 退院カンファレンスの実際の内容をみてみたい。(模擬で良いです)
- リモートは参加しやすかったです。ありがとうございます。
- ACPの進め方について再度、永沼様に講義いただきたい